

平成28年度の取組み

～ 地方創生・キックオフ ～

豊岡市

事業一覧

No.	事業名	担当課
1	リアリティある安全な避難のために ～行政区別ハザードマップ作成～	防災課
2	突然の津波災害に備える ～津波避難場所用鍵ボックス設置～	防災課
3	デジタル電波対応のシステムに改修 ～防災行政無線整備事業～	防災課
4	子育て世代への支援を拡充 ～中学生以下の外来医療費助成～	市民課
5	観光地の稼ぐ力を引き出し高める ～豊岡DMO設立事業～	大交流課
6	観光客の動きをつかむ ～観光動態見える化事業～	大交流課
7	外国人の快適な旅行のために ～インバウンド受入体制整備計画～	大交流課
8	コウノトリ育む農法を普及拡大 ～無農薬栽培実証事業、新品種試験栽培実証事業～	農林水産課
9	海外への販路を開拓 ～コウノトリ育むお米ブランド化推進事業～	農林水産課
10	若手農家の就労を応援 ～新規就農総合支援事業～	農林水産課
11	多様な人材・団体が集い交流 ～コワーキング豊岡整備事業～	エコバレー推進課
12	豊岡らしい地域の価値を発信 ～移住定住促進プロモーション戦略事業～	大交流課
13	移住のギャップを解消 ～移住定住促進事業～	大交流課
14	官民が連携して婚活ネットワーク ～出会い機会創出事業・結婚促進体制整備事業～	ハートリーフ戦略室
15	子どもを産み育てやすい環境を整備 ～母子保健事業～	健康増進課
16	働きながら子育てがしやすい環境づくり ～ファミリー・サポート・センター事業～	こども育成課
17	ローカル＆グローバル学習 ～ふるさと教育推進事業～	こども教育課、大交流課 コウノトリ共生課 エコバレー推進課
18	地方は貧しくて、つまらない？ ～文化芸術創造交流事業～	文化振興課、生涯学習課、 大交流課

19	人々に夢と希望そして勇気を ～植村直己冒険賞～	生涯学習課 植村直己冒険館
20	祝！開館２０周年 ～日本・モンゴル民族博物館事業～	文化振興課 日本・モンゴル民族博物館
21	芸術文化による豊かな生活を実現 ～芸術文化情報発信事業～	大交流課
22	地域の特色を生かし城崎を活性化 ～城崎振興局プロジェクトの推進～	城崎振興局地域振興課
23	地域の特色を生かし竹野を活性化 ～竹野振興局プロジェクトの推進～	竹野振興局地域振興課
24	地域の特色を生かし日高を活性化 ～日高振興局プロジェクトの推進～	日高振興局地域振興課
25	地域の特色を生かし出石を活性化 ～出石振興局プロジェクトの推進～	出石振興局地域振興課
26	地域の特色を生かし但東を活性化 ～但東振興局プロジェクトの推進～	但東振興局地域振興課

No. 1	リアリティある安全な非難のために ～ 行政区別ハザードマップ作成 ～	28 年度 予算額	5,200 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

従来の旧市町区域別の防災マップは掲載範囲が広く、十分に活用されていない。これに代わるものとして、風水害時の浸水想定や土砂災害危険情報等を明示した行政区別のハザードマップ及び安全確保手引書を作成し、各戸に配布する。これにより、風水害時における市民の安全確保行動に資する。

2 事業内容

3 カ年事業※の

成果を活用して、最新の国・兵庫県による浸水想定に基づく、行政区別のハザードマップと安全確保手引書を作成する。

3 28 年度予算

5,200 千円

※3 カ年事業（平成 25～27 年度）「水害時における市民安全確保推進支援事業」

平成 16 年台風 23 号では、市が避難勧告等を出しても避難所へ避難する人の割合は低いという現状が明らかになった。このため、防災研究機関と連携し、水害時における、リアリティのある、より安全な避難行動の構築を目指す。

(1) 全体事業費 20,265 千円

(2) 事業概要

ア 安全確保行動マスタープランの策定

イ 市民安全確保推進会議及び住民ワークショップの実施

ウ 市民を災害から守るためのゾーニング別の安全確保手引書の作成

エ 行政区別のハザードマップ（安全確保行動マップ）等の作成

オ 市避難意志決定支援マップの作成

【行政区別ハザードマップのイメージ】



No. 2	突然の津波災害に備える ～津波避難場所用鍵ボックス設置～	28 年度 予算額	1,596 千円	拡大 継続
-------	--	--------------	----------	----------

1 事業目的（趣旨）

無電源式の津波避難場所用鍵ボックスを沿岸部の5施設※に設置することにより、災害時に迅速に避難することができる体制を構築し、いつ襲ってくるかわからない災害に備える。

（※沿岸部の5施設：港西小学校、港東小学校、港中学校、竹野小学校
（株）協漁具製作所（豊岡市小島））

2 事業内容

夜間・休日に指定津波避難場所である学校等の施設内に避難するため、震度5以上の地震の揺れを感知し自動で解錠する津波避難場所用鍵ボックスを設置する。

現在は、夜間・休日の津波に備えて避難場所の鍵を複数の近隣の者が保管しているが、不在時に対応することができない。津波避難場所用鍵ボックスを設置することにより、最初に避難してきた者が解錠できるようになる。

3 28 年度予算

設置工事費 1,596 千円

4 その他

(1) 現在の指定津波避難場所の鍵の保管状況

竹野小学校では、地元の自治会が鍵を保管しているが、他の施設では、地元住民等が鍵を保管していない。

(2) 鍵ボックスの特徴

今回設置する鍵ボックスは、地震の揺れを感知して自動で解錠する。鍵ボックスが設置されている壁を蹴ったり、揺する衝撃では解錠しない。

鍵ボックスの写真



鍵ボックスの設置事例



No. 3	デジタル電波対応のシステムに改修 ～防災行政無線整備事業～	28 年度 予算額	4,953 千円	新規 拡大 継続
-------	---	--------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

無線規格の変更により、現在運用している防災行政無線設備のアナログ電波が平成34年11月末までしか使用できない。また、設備そのものが更新する時期に来ている。このため、現行の防災行政無線に代わる最適な防災情報提供システムを整備する。

2 事業内容

(1) 内容

ア 平成28年度 プロポーザル方式による新たな防災情報提供システムの選定

イ 平成29年度～平成33年度 新システムの整備

(ア) 調査・実施設計

(イ) 親局・中継局・屋外拡声子局整備

(ウ) 戸別受信機配布

(エ) 旧システムの撤去（施設及び旧戸別受信機回収）

地域	防災行政無線 運用開始時期
豊岡	平成15年12月
城崎	平成10年4月
竹野	平成20年4月
日高	平成12年8月
出石	平成12年10月
但東	平成20年7月

(2) 事業期間

平成28年度～平成33年度（見込み）

導入するシステムによっては、整備期間が短くなる場合がある。

(3) 事業主体 豊岡市

3 28年度予算

(1) 予算額 4,953 千円

(2) 事業内容

ア 庁内の検討委員会で検討を進め、新たな防災情報提供システムをプロポーザル方式で選定。その際、専門的な知識及び経験のある業者からアドバイスを受ける。

イ 防災情報提供システムについての先進地の視察

ウ 総務省近畿総合通信局等と新たな防災情報提供システムの導入に向けて協議



担当部署名【防災課】0796-23-1111(代表)

No. 4	子育て世代への支援を拡充 ～中学生以下の外来医療費助成～	28 年度 予算額	29,456 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	-----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

豊岡市は、兵庫県との共同事業で福祉医療費助成事業を行っている。また、市独自の上乘せ事業として、入院医療費の無料化を平成 24 年 7 月から実施している。

医療保険制度は、保険料と自己負担による相互扶助の考え方を基に成り立っている。

この基本的な考え方を堅持しつつ、子育て世代への経済的な応援として、中学生以下のこどもに対する医療費助成を拡充し、子育てしやすい環境を整える。

2 事業内容

(1) 内容

現在の入院無料化に加え、外来医療費に対する助成を次のように拡充する。

区分	現行 (自己負担限度額等)	拡充案	対象者 (H27. 12 末)	備考
乳幼児等 医療 (小3以下)	一 般 800 円 低所得 600 円	一律 400 円	6,111 人	自己負担限度額： 医療機関1日当たりの限度 額（月3回目以降は無料）
こども医療 (小4～中3)	自己負担額の 1／3を助成	左記に加え 月額負担限度額 1,600 円	3,892 人	月額限度額：医療機関毎

(2) 事業期間 平成 28 年 7 月 1 日～平成 38 年 6 月 30 日（10 年間）

(3) 事業主体 豊岡市

(4) 全体事業費

拡充に要する経費（10 年間）376,331 千円

※ 財源については、金銭信託の運用利息
（今後の見込みを含め、約 6 億 5 千万
円）

の一部を活用する。



3 28 年度予算

(1) 予算額

147,471 千円（拡充分 29,456 千円）

（内訳）乳幼児等医療費助成 119,167 千円（拡充分 23,831 千円）

こども医療費助成 28,304 千円（拡充分 5,625 千円）

(2) 内容（拡充に要するもの）

システム改修費、扶助費

担当部署名【市民課】0796-21-9061

No. 5	観光地の稼ぐ力を引き出し高める ～豊岡DMO設立事業～	28 年度 予算額	56,214 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------------	--------------	-----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

観光地経営の視点に立ち、各種データを継続的に収集、分析して、諸事業に戦略的に取り組む。それにより、地域の稼ぐ力を引き出し、高め、地域経済の活性化や、魅力的な雇用の創出を図る。

2 事業内容

(1) 地域マーケティング戦略の推進

- ア マーケティング情報の継続的な収集・分析・共有
- イ 戦略の策定・推進
- ウ 地域事業者の発掘・ネットワーク化による着地型観光の創出
- エ 事業者へのマーケティング支援

(2) 収益事業の実施

- ア 宿泊予約サイト（Visit Kinosaki）の運営
- イ 着地型ツアーの企画・販売
- ウ 豊岡ブランド商品の販売

2 組織概要

(1) 組織形態

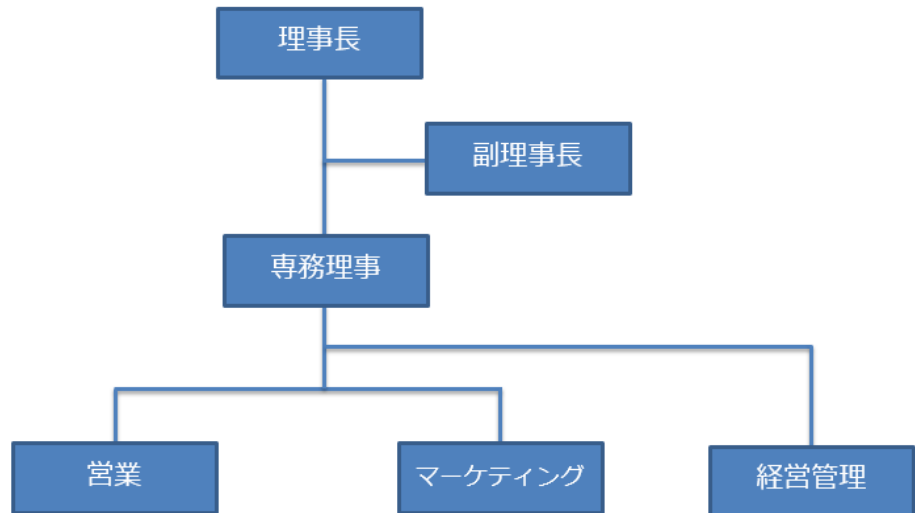
一般社団法人

(2) 事務所所在地

豊岡市内（当面市庁舎内に置く）

(3) 組織体制

- 理事長 中貝 宗治（豊岡市長）
- 副理事長 真野 毅 （豊岡市副市長）
- 事業本部長 大手商社より派遣（調整中）
- 運営スタッフ WILLER CORPORATION 株式会社、全但バス株式会社、
株式会社ジェイティービー、但馬銀行、豊岡市から人材を派遣



(4) 基金拠出

ア 拠出額 28,750千円 (うち豊岡市20,000千円)

イ 拠出団体 WILLER CORPORATION 株式会社、全但バス株式会社、但馬銀行、
但馬信用金庫、豊岡市

(5) 設立予定

平成28年5月頃

3 28年度予算

- (1) 設立準備負担金(法人登記費用) 214千円
- (2) 基金拠出金 20,000千円 ※民間も8,750千円負担
- (3) 年会費 300千円
- (4) 着地型観光促進事業補助金 6,000千円
- (5) 観光まちづくり推進事業補助金(アドバイザー契約) 7,200千円
- (6) 地域経営企業人負担金(大手商社、JTB) 22,500千円

担当部署【大交流課】0796-21-9016

No. 6	観光客の動きをつかむ ～観光動態見える化事業～	28 年度 予算額	3,996 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	--------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

急速な人口減少により地域経済が縮小する中、交流人口の拡大による地域活性化が重要な政策課題となっている。

社会環境の変化や旅行ニーズの多様化に対応しつつ地域自らが誘客するためには、客観的なデータの収集・分析に基づく事業展開が必要となる。そのために、観光客の動きを把握するデータを収集し、分析を行う。

2 事業内容

スマートフォンユーザーの位置情報ビッグデータの活用により、観光客の動きを把握するデータを収集し、分析する。また、平均宿泊日数、平均滞在時間等のデータも把握する。これにより、現状把握やターゲットを絞った誘客施策、周遊促進など具体的なアクションの実行に活かす。

分析内容（案）

分析項目	分析内容
来訪者分析	発地地域別・都道府県別や性別・年齢層別に来訪者数を算出し、どこからどんな人がどれくらい来訪したかを分析
旅程分析	日帰り・宿泊（域内宿泊・域外宿泊）別の来訪者数を算出し、どのような旅程で来訪したかを分析
立寄り分析	他の市町ごとの立ち寄り者数を算出し、来訪者がどこを経由してどこに滞在したかを分析
宿泊地分析	市町ごとの宿泊人泊数を算出し、どこに宿泊したかを分析
交通手段分析	主要流入交通手段（幹線道路、鉄道、空港等）別の来訪者数を算出して、どのような手段で来訪したかを分析
流入出分析	市内エリアごとの来訪者の時間帯別流入出者数を算出して、いつどのくらいの人がエリア内に滞在したかを分析
周遊分析	性別・年齢層別の人気周遊ルートランキングを算出し、どんな人がどのように市内エリア間を周遊したかを分析

3 28 年度予算

業務委託料 3,996 千円

担当部署【大交流課】0796-21-9016

No. 7	外国人の快適な旅行のために ～インバウンド受入体制整備計画～	28 年度 予算額	2,000 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	--------------	----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

東京オリンピック・パラリンピック大会が開催される 2020 年に、本市に宿泊する外国人観光客 10 万人の目標を達成するため、ソフト・ハードの両面から現況の受け入れ体制を調査し課題等を整理する。

外国人旅行者が快適に旅行できる環境を整備するための計画を策定する。

2 事業内容

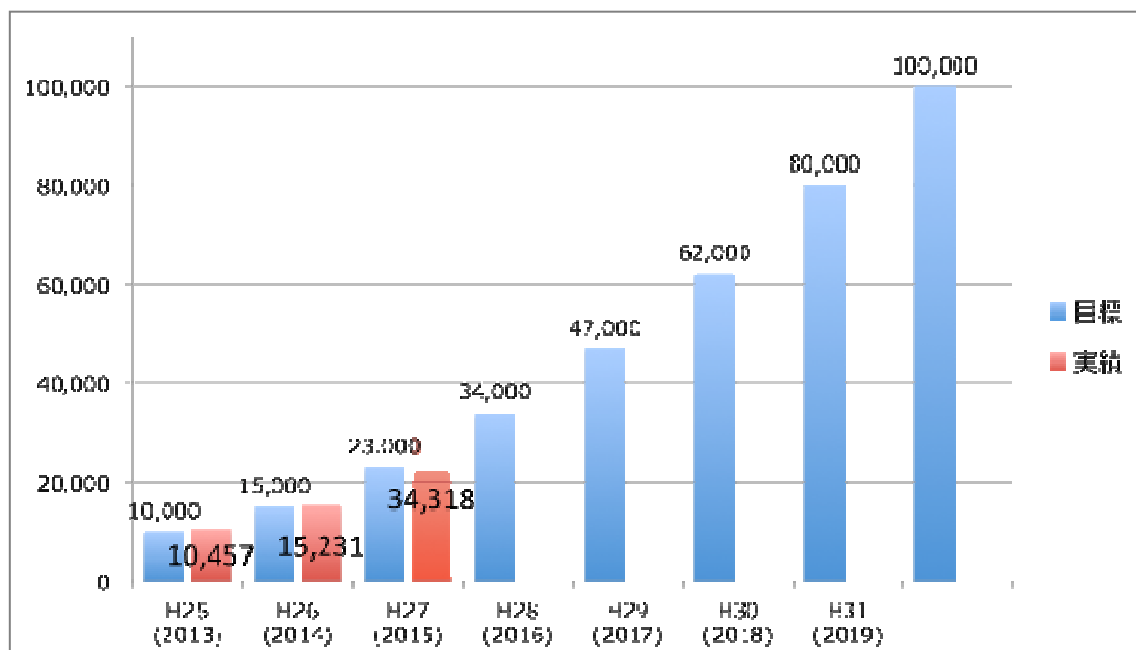
市内における訪日外国人の受入体制の実態調査及び評価を行い、整備計画を策定する。

3 事業費

2,000 千円



城崎温泉でのインバウンド受入相談室の様子



担当部署名【大交流課】0796-21-9016

No. 8	コウノトリ育む農法を普及拡大 ～無農薬栽培実証事業、新品種試験栽培実証事業～	28 年度 予算額	2,903 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

本市の環境創造型農業の柱である「コウノトリ育む農法」の普及拡大に向けた取り組みにより、持続可能で強い豊岡農業の推進を図る。

2 事業内容

- (1) 平成26年度から実施しているポット成苗等を使用した「みのる式営農」により、コウノトリ育む農法の無農薬栽培の実証試験（最終年）を行う。その結果をマニュアルとして整理し、栽培技術の向上に取り組む。
- (2) ポット成苗等による無農薬栽培により、新たに市場評価の高い新品種「いのちの粳」※の試験栽培に取り組み、コウノトリ育む農法の一層の推進を図る。

※「いのちの粳（品種名）」

- ・平成12年、岐阜県下呂市で榊龍の瞳代表今井氏が発見した新品種。
- ・米粒の大きさがコシヒカリの約1.5倍あり、粘りや香り、甘みに優れた良食味米として、市場で高い評価を受けている品種。



実証試験の様子（田植え）



3 28 年度予算

- (1) 無農薬栽培実証事業（みのる産業㈱業務協定） 5 カ所 1,350 千円（継続）
- (2) 新品種試験栽培実証事業（榊龍の瞳との連携） 4 カ所 1,553 千円（新規）

担当部署名【農林水産課】0796-23-1127

No. 9	海外への販路を開拓 ～コウノトリ育むお米ブランド化推進事業～	28 年度 予算額	7,300 千円	新規 ☒ 拡大 ☐ 継続
-------	--	--------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

本市の環境創造型農産物を代表する「コウノトリ育むお米」の海外市場での安定的な販路確保に向けてマーケットリサーチ、試験販売等を行い、持続可能な豊岡農業の早期確立を図る。

2 事業内容

コウノトリ育むお米の優位性を熟知している商社と連携し、平成 27 年度に決定した重点推進 3 カ国（イタリア、アメリカ、シンガポール）でのテスト販売等によるマーケットリサーチを実施し、海外販路の開拓を図る。



ミラノ万博日本館ステージイベント



プロモーションイベント（ミラノ市内）

3 28 年度予算

(1) プロモーションイベント経費	2,270 千円
(2) テスト販売旅費	1,980 千円
(3) 商標取得	1,300 千円
(4) マーケットリサーチ業務委託	1,000 千円
(5) 海外向け冊子等作成	750 千円

担当部署名【農林水産課】0796-23-1127

No.10	若手農家の就労を応援 ～新規就農総合支援事業～	28 年度 予算額	14,938 千円	新規 ☒ 拡大 ☐ 継続
-------	-----------------------------------	--------------	-----------	---

1 事業目的（趣旨）

豊岡で農業を頑張る若者に対し、初期投資費用の一部を支援するとともに、市外から移住する新規就農者や豊岡農業スクール生への家賃補助により住居負担を軽減することで、地方創生の柱である若者の定着を推進する。また、短期の農業体験を通して田舎暮らしの魅力を伝え、将来の移住・就農へ繋げる。

2 事業内容

(1) 内容

ア 若手農家支援事業【拡充】

(7) 園芸用ハウス整備費助成事業【継続】

園芸用ハウス整備に係る資材費・施工費の3/4以内(上限3,000千円)を補助

(4) 農業用機械等整備費助成事業【新規】

農業用機械等の導入経費の1/2以内(上限3,000千円)を補助

(ウ) 住居費助成事業【新規】

市外から転入し、市内の賃貸住宅に居住する新規就農者・豊岡農業スクール生に対し、家賃の1/2以内(上限20千円/月)を補助

イ 豊岡農業体験事業【新規】

豊岡農業を短期間体験できる場を提供

ウ 親方農家発掘事業【新規】

大規模農家の後継者の状況、新規就農者等の受入希望等を把握するためのアンケート調査を実施

(2) 事業期間

平成27年度～(平成28年度より拡充)

(3) 事業主体

豊岡市



園芸用ビニールハウス

(4) 全体事業費

平成27年度 9,000千円 平成28年度 14,938千円 計 23,938千円

3 28年度予算

(1) 予算額

14,938千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の1/2）

(2) 事業内容

ア	園芸用ハウス整備費助成	1,300千円×8棟×3/4	=	7,800千円
イ	農業用機械等整備費助成	3,000千円×2人分	=	6,000千円
ウ	住居費助成	20千円×12月×2人分	=	480千円
エ	豊岡農業体験	報償費393千円+旅費215千円+需用費50千円	=	658千円

担当部署【農林水産課】0796-23-1127

No.11	多様な人材・団体が集い交流 ～コワーキング豊岡整備事業～	28 年度 予算額	95,040 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	-----------	----------------

1 コワーキング豊岡とは

豊岡DMOと(株)ウィラーが入居する2つの事務所と、コワーキング・シェアオフィスエリアを一体的に整備し、創業支援や異業種交流の拠点とする。

2 事業目的（趣旨）

但馬地域地場産業振興センター（以下「センター」という。）内に「コワーキング豊岡」を整備する。市内外の多様な人材・団体が集い交流する場をつくり、センターを地域の産業振興に広く寄与する施設に再生させる。また、一般財団法人地場産業振興センター（以下「じばさん」という。）の経営の安定化を図る。

3 事業内容

(1) 内容

市は、一般社団法人豊岡靴協会が所有するセンター5階のホールと会議室を取得し、じばさんに有償で貸し付け、整備と運営を依頼する。整備に係る費用は、市がじばさんに補助する。じばさんは、センターの5階にコワーキング豊岡を整備する。コワーキング・シェアオフィスエリアの運営については、じばさんが豊岡DMOに委託する。

(2) 事業期間 平成 28 年度

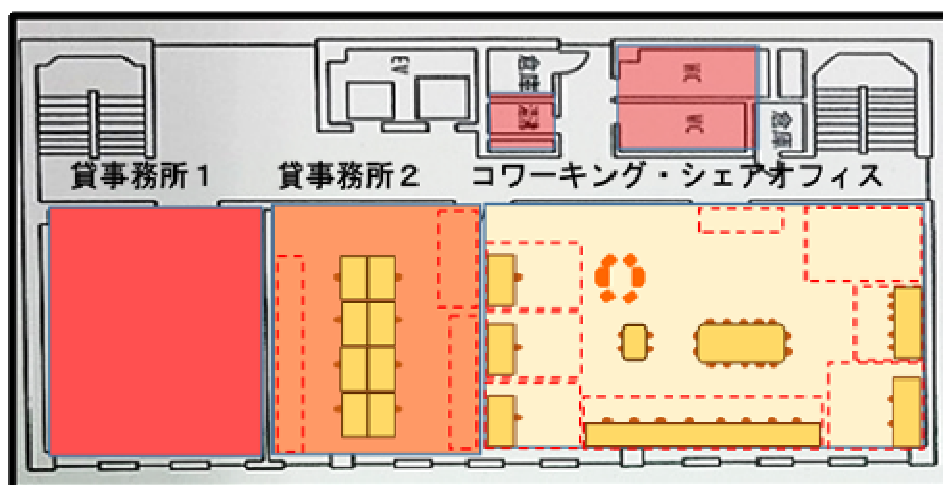
(3) 事業主体 一般財団法人但馬地域地場産業振興センター

4 28 年度予算

95,040 千円（内訳：設計・施工監理費 8,640 千円、整備工事費 86,400 千円）

※市がじばさんに補助金として交付する。

※財源として、地方創生推進交付金（補助率 1/2）と、合併特例債を活用する。



「コワーキング豊岡」整備イメージ図

担当課名【エコバレー推進課】0796-23-4480

No.12	豊岡らしい地域の価値を発信 ～移住定住促進プロモーション戦略事業～	28 年度 予算額	40,542 千円	新規 拡大 継続
-------	---	--------------	-----------	---

1 事業目的（趣旨）

豊岡市が移住意向者にしっかりと認知され、移住定住先としての選択肢に入るよう、豊岡らしい地域の価値に重点を置いた「実体（リアリティ）」を情報発信していく。地域の仕事・住い・暮らし等のリアルな情報を、市民の方々と協働して伝え、効果的なプロモーションを行う。

2 事業内容

豊岡のターゲット層が集まる移住定住を専門とするメディアでのPR活動と豊岡の暮らしを伝えるイベント、パンフレットや動画等、ターゲット層に響くPR素材の作成を行い、移住定住先としての豊岡の認知や興味を広げていく。

(1) プロモーション戦略〔26,939 千円〕

豊岡を認識してもらい、移住へと誘導する活動を、移住定住の専門メディア（雑形、コロカル等）を使い情報発信・PRする。

(2) 情報発信ツールの作成〔7,507 千円〕

ライフスタイルやまちの情報等を発信するパンフレットやポスター、チラシの作成や豊岡のターゲットに合った動画を作成する。

豊岡の「仕事」「住まい」「暮らし」等に関する情報を届ける移住定住のWEBサイトを制作する。

(3) 豊岡暮らしカフェ（移住相談会）の開催〔1,601 千円〕

先輩移住者が「豊岡の暮らしの今」を伝える講演会やトークショーを大阪で開催（2回予定）。

移住相談や豊岡の食を提供するコーナーを設け、移住の楽しさ・苦勞などのリアルな魅力を伝える。

(4) 移住定住促進のための情報発信イベント豊岡エキシビションの開催〔4,495 千円〕

移住意向者への認知を上げるとともに、豊岡を移住定住先としての選択肢に入れるための情報発信イベントを東京で開催する。

3 その他

平成 27 年度に策定した「豊岡市移住定住促進プロモーション戦略」に基づきプロモーションを行う。



担当課名【大交流課】0796-21-9096

No.13	移住のギャップを解消 ～移住定住促進事業～	28 年度 予算額	9,415 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------	--------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

定住やU I J ターンを推進し、活力あるまちづくりを図る。

2 事業内容

移住前後のギャップやミスマッチを解消するとともに、生活等のリアルな情報提供や相談に対応するため、ワンストップ窓口や支援の仕組みづくり等の移住定住の受入体制を構築する。

また、移住を希望する方々が定住できるようにさまざまな支援を行う。

(1) 移住定住促進のための総合的な窓口の設置〔180 千円〕

移住希望者への情報提供やコーディネート、フォローを一括して行う総合窓口を市役所内に設置する。

(2) 生活等の情報提供や相談等に対応する移住定住者支援の仕組み構築〔895 千円〕

移住希望者への情報提供、相談等に対応する市民を中心とした仕組みの構築を行う。

(3) 移住定住促進のための企画を立案・推進するための学習の場「トヨオカム塾」の運営〔2,000 千円〕

移住定住者の受け入れ態勢を整備するための事業の企画立案や移住定住希望者への情報提供を自主的に実施できる必要知識などを習得するための「学びの場」を創出し、移住定住支援を行うキーパーソンとなる人材を育成する。

(4) 豊岡暮らし体験会の開催〔440 千円〕

移住意向者を対象とした先輩移住者の体験談や豊岡の暮らしを知る会を開催する。

(5) 定住住宅リフォーム補助〔5,000 千円〕

過疎地域及び辺地集落を対象に移住者が行う空き家改修への補助を行う。移住定住 WEB サイトに登録された物件を、移住者が購入・賃借するにあたり、必要な改修費を助成する（対象経費の4分の3以内、50万円を限度）。

(6) 現地案内、地域紹介を行う現地案内人に対する支援〔900 千円〕

地域への移住を希望される方に対し、地域の案内や紹介などを行う現地案内人への支援を行う。



No.14	官民が連携して婚活ネットワーク ～出会い機会創出事業・結婚促進体制整備事業～	28 年度 予算額	3,262 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

人口減少抑制対策を進めるため、「豊岡市地方創生総合戦略」の結婚促進・多子出産に係る戦略の一環として、出会い機会創出事業を実施し、婚活機運の醸成を促し、婚姻数の増加を目指す。

2 事業内容

(1) 内容

民間団体が提案する出会い機会イベントの開催への支援を行う。

また、行政、民間団体、研究機関等による連携ネットワークを構築し、結婚促進に効果的な事業を検討し、展開していく。

ア 企業間の婚活イベントへの支援

企業間交流（婚活）を目的としたイベント開催を支援する。

イ 民間団体による自主的なイベント開催への支援

NPO 団体、農協、地域コミュニティ団体等が提案する婚活事業への支援する。

ウ 民間事業者との共催事業

民間事業者と共催し、婚活イベントを開催する。

エ ネットワークの構築

行政、民間団体、研究機関等が協働してネットワークを構築し、イベントの発案をはじめ、結婚促進のためのさまざまな事業を検討し、展開していく。

(2) 事業期間 平成 28 度～

(3) 事業主体 豊岡市

3 28 年度予算

3,262 千円



イベントイメージ

No.15	子どもを産み育てやすい環境を整備 ～母子保健事業～	28 年度 予算額	19,998 千円	新規 拡大 継続
-------	-------------------------------------	--------------	-----------	---

1 事業目的（趣旨）

子どもを産み育てやすい環境を整備し人口減少対策につなげるため、新たに「妊婦歯科健康診査事業」を創設し、さらに地方創生の一環として「不育症治療費助成事業」の創設と「特定不妊治療費助成事業」の拡充を図ることとした。

2 事業内容

(1) 妊婦歯科健診事業（新規）〔598 千円〕

早産等の危険率が7倍に上るといわれている妊婦の歯周病の早期発見、早期治療を促すため、妊婦歯科健康診査を豊岡市歯科医師会協力医療機関での個別受診で行う。妊婦の歯周組織検査費用を、1回の妊娠につき1回公費負担とする。

<有効性>

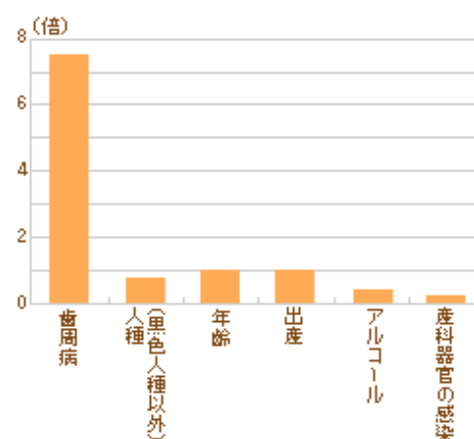
ア 妊娠中に分泌量が増大する女性ホルモンは、歯周病の原因菌やその他の菌の繁殖を促進するため、妊婦は歯肉炎を起こしやすく悪化しやすい。

イ 娠している女性が歯周病に罹患している場合、低体重児および早産の危険度が約7倍高くなることが指摘されている（日本臨床歯周病学会より）。

※口の中の歯周病細菌が血中に入り、胎盤を通して胎児に直接感染するのではないかとされている。

ウ 歯周病治療で、早産を50%以上減少できたとの研究報告がある（歯周病予防研究会HP）。

● 妊婦における早期低体重児出産の危険率



(2) 不育症治療費助成事業（新規）〔200 千円〕

不育症の治療による妊娠成功率は6割から8割とされている。次の妊娠をためらう夫婦の早期治療を促進するため、その検査及び治療費の一部を助成することにより経済的負担の軽減を図る。

ア 助成額 対象となる経費の1/2

(3) 特定不妊治療費助成事業（拡充）〔19,200 千円〕

特定不妊治療を受ける夫婦に対しその費用の一部を助成することにより経済的負担を軽減し、子どもを望む夫婦がより治療に踏み出せるよう、国の助成制度に市からの助成金を上乗せする。

1年度当たり20万円の上限額を撤廃し、治療回数制限は国に準じた上で、1回当たり20万円を上乗せする。

特定不妊治療費助成制度の助成額（上限額）						
H27 (H28. 1. 20～)				H28 (H28. 4. 1～)		
(計50万円)				(計50万円)		
50万	(※1)			50万	(計40万円)	(計40万円)
	1年度で20万円			40万	(※2)	(※2)
					20万円	20万円
30万	30万円	(計20万円)	(計20万円)	30万	30万円	
20万		5万円	5万円	20万	5万円	5万円
15万		15万円	15万円	15万	15万円	15万円
	初回	2回目	3回目		初回	2回目
	※助成金額は全て上限額					
	※年齢制限、回数制限あり					
	豊岡市					
	県	夫婦合算の所得が400万円未満、かつ排卵から胚移植まで一連の治療の場合、5万円上乗せ。				
	国	凍結融解胚移植の場合、又は卵子不良・採卵不可の場合、7万5千円となる。 男性に対する治療が行われた場合、さらに15万円を上乗せ。				
	(※1)	1回の申請で上限額に満たなければ、次回申請分に繰越可能				
	(※2)	豊岡市の「1回につき20万円」は、平成28年4月1日以降に県に申請した治療分に適用				

【健康増進課】0796-24-1127

No.16	働きながら子育てがしやすい環境づくり ～ファミリー・サポート・センター事業～	28 年度 予算額	328 千円	新規 拡大 継続
-------	---	--------------	--------	----------------

1 事業目的（趣旨）

ファミリー・サポート・センターは、子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者と、支援を行いたい人の会員組織。

保護者の仕事の都合などにより、保育所等の送迎や子どもの預かりなどを会員同士で相互援助することにより、核家族世帯や共働き世帯の保護者も働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

2 事業内容

(1) 内容

会員同士の相互援助を円滑に図れるよう、専任のアドバイザーを配置して、会員のマッチング、会員研修、会員交流事業などを行う。

(2) 事業スケジュール

平成 28 年度 事前準備（事業内容の検討など）
平成 29 年度～ ファミリー・サポート・センター設置

(3) 事業主体 豊岡市

(4) 全体事業費

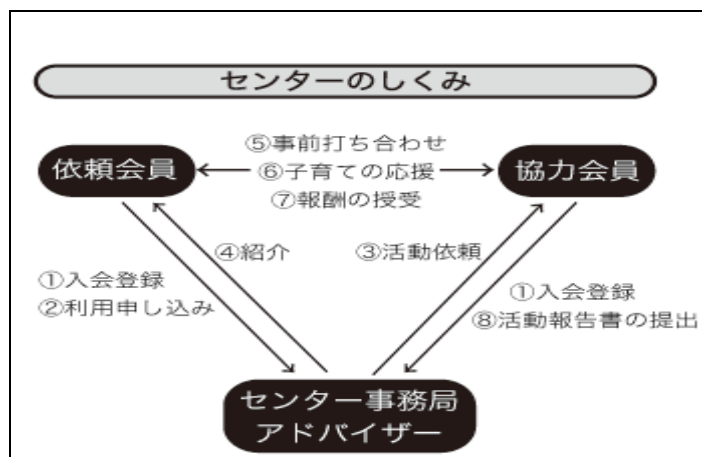
平成 28 年度 事前準備 328 千円
平成 29 年度～ センター事業実施 4,000 千円程度／年

3 28 年度予算

(1) 予算額 328 千円

(2) 事業内容

- ア 先進地視察
- イ ファミリー・サポート・センター事業研修
- ウ 事業内容検討事務



No.17	ローカル&グローバル学習 ～ふるさと教育推進事業～	28 年度 予算額	15,910 千円	新規 拡大 継続
-------	---	--------------	-----------	---

1 事業目的（趣旨）

一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成するため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」を行う。

「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマとして、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を高める教育を行う。

2 事業内容

(1) 内容

ア カリキュラムの作成

ふるさと教育・英語教育・コミュニケーション教育を3つの柱とした「ローカル&グローバル学習の時間」のカリキュラムを作成する。

イ 副読本等の作成

世界に誇れる豊岡を学習することを目的とした「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」に関する副読本等を作成する。

ウ 映像教材の制作

“コウノトリ野生復帰の歴史と現状”“コウノトリをシンボルとしたまちづくり”について学ぶための映像教材を制作する。ふるさと教育推進事業や市立コウノトリ文化館で一般来場者用として使用する。

エ 「但東中学校 MISSION IN TOKYO (ミッション イン トーキョー)」の取組み

但東中学校3年生が修学旅行の機会を利用し、東京交通会館イベントスペース等で、「ふるさと豊岡の魅力」を発信する。

オ 豊岡市工業会5周年記念事業「おっとりっしゃ豊岡のものづくりⅢ」

ネイチャーテクノロジー展、ものづくり体験教室、会員企業の展示等を通じて、ものづくりの楽しさを実感し、市内企業の優れた技術や成長性についての理解を深めるきっかけをつくる。

(2) 事業期間 平成 28 年度～

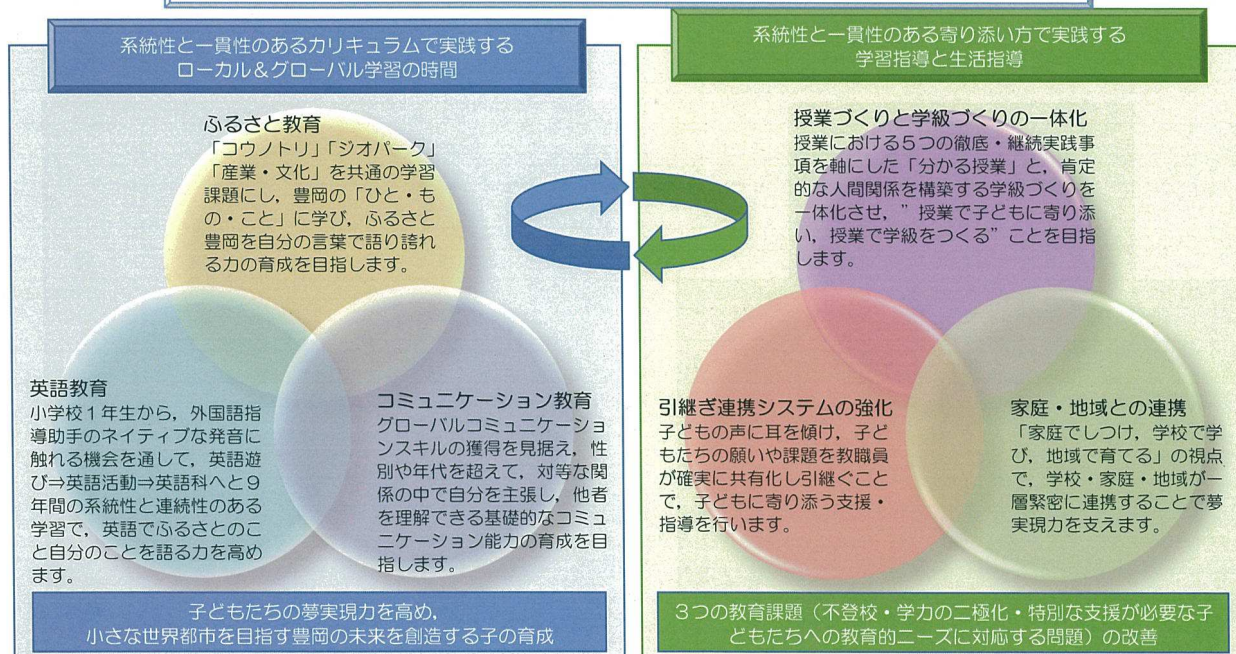
(3) 事業主体 豊岡市

3 28 年度予算

15,910 千円（地方創生推進交付金 補助率：交付対象額の 1/2）

2つの視点と6つの柱で9年間の学びと育ちを支え、夢実現力を育む「豊岡こうのとりのプラン」

ふるさと豊岡を愛し 夢の実現に向け挑戦する子どもの育成
～夢実現力（なりたい自分になるためにがんばりぬく力）を子どもたちに～



担当部署名 【こども教育課】 0796-23-1452
【コウノトリ共生課】 0796-23-9017
【大交流課】 0796-21-9016
【エコバレー推進課】 0796-21-9024

No.18	地方は貧しくて、つまらない？ ～文化芸術創造交流事業～	28 年度 予算額	33,896 千円	新規 拡大 継続
-------	---------------------------------------	--------------	-----------	---

1 事業目的（趣旨）

「地方は貧しくて、つまらない」というイメージから脱却するため、文化芸術事業の連携及び事業を通じた多様な人材の交流や、質の高い文化芸術鑑賞機会の提供により、市民が暮らしの豊かさを実感することを目指す。

同時に、市内外に向けた情報発信を行い、地方創生の実現を目指す。

2 事業内容

(1) 文化芸術施設の連携事業

（仮称）「2016 夏・秋 とよおかの文化芸術との新たな出会い」と題し、7 月から 11 月までの期間、多様な文化芸術事業を提供する。

ア 7 月 22 日 キックオフイベントの開催（オープニングシンポジウム含む）

イ 文化芸術事業の開催、情報発信

(2) 各施設事業

ア おでかけ訪問コンサート（後期：10～11 月予定）／豊岡市民会館

イ 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭～おんぶの祭典～（11/8～13）

ウ 演劇プロジェクト 関西人気劇作家と俳優たち×市民演劇（7/30、31）／豊岡市民プラザ

エ 劇団 CORPUSfrom カナダ『ひつじ』豊岡公演とワークショップ（9/22）

オ ロッソ・コロン with 青年団『キノサキノマトペ』公演（8/12、13 予定）／城崎国際アートセンター

カ トマ・キルデ with ブノワ・カ、河村達也（青年団）『montagne/山』公演（9/10、11 予定）

キ てがみ座『燦々（仮）』公演（11/26、27 予定）

※上記事業に、市内文化会館自主事業、出石永楽館の歌舞伎や狂言、豊岡市美術展、仲田光成記念全国かな書展などの文化芸術事業を加えて発信予定。

3 28 年度予算（3 年間継続予定）

33,896 千円

4 その他

城崎国際アートセンターは、地方創生で掲げている芸術文化による国際的戦略拠点となり、小さな世界都市の実現を目指す。



担当部署名【文化振興課】0796-23-1160

No.19	人々に夢と希望そして勇気を ～植村直己冒険賞～	28 年度 予算額	9,596 千円	新規 拡大 継続
-------	-----------------------------------	--------------	----------	-----------------------

1 事業目的（趣旨）

世界的な冒険家・故植村直己氏の精神を継承し、人々に夢と希望そして勇気を与えてくれた創造的な行動（業績）について受賞者を選考・発表し、授賞式や記念講演会を行う。

賞創設後 20 回目を迎え、この節目に歴代の受賞者を豊岡に招き、記念講演会や市民参加型の交流事業を通し、冒険賞の意義を広く P R する。

2 事業内容

(1) 内 容

ア 2015「植村直己冒険賞」授賞式の開催（6月）

イ 受賞者による市内小・中学生への講演会等（交流事業）の実施（秋）

ウ 2016「植村直己冒険賞」受賞者の選考

エ 植村直己冒険賞 20 周年記念事業の開催（8月）

(2) 事業期間

平成 28 年度

(3) 事業主体

豊岡市



3 28 年度予算

9,596 千円

4 その他

(1) 植村直己冒険賞 20 周年記念事業（予算額のうち 3,900 千円）

テーマ 「笑顔でチャレンジ 2016（仮称）」～忘れない感謝の心～

日 時 8 月中旬

場 所 日高文化体育館、植村直己冒険館ほか

内 容 歴代受賞者による記念講演会、交流イベント等



受賞者による小学校出前授業

(2) 植村直己冒険賞（平成 8 年度創設）

2015「植村直己冒険賞」で 20 回目を迎えた。その間 17 人と 1 グループに本賞を、3 人と 1 グループに特別賞を贈った。

担当課名【生涯学習課 植村直己冒険館】0796-23-0341

No.20	祝！開館20周年 ～日本・モンゴル民族博物館事業～	28年度 予算額	4,404 千円	新規 拡大 継続
-------	------------------------------	-------------	----------	--

1 事業目的（趣旨）

日本・モンゴル民族博物館は、モンゴルに特化した国内でもまれな施設。今年で開館20周年の節目を市民の皆さんとともに祝う記念行事を開催する。

「日本におけるモンゴル文化の交流拠点」として、モンゴルが普遍的な文化として地域に浸透し、また、在日モンゴルの方々には祖国を誇りに想い心の拠り所となるよう、この博物館のあり方についてあらためて考える機会とする。

2 事業内容

(1) 博物館自主事業

ア 企画展の開催

(ア) 第70回「満州『大兵庫開拓団』と高橋村」

(イ) 第71回「昭和の大合併～村から町へ～」

イ 夏休み博物館教室、やきもの体験教室、雛まつり行事などの開催

ウ 地元行事、在日モンゴリアンイベント「2016 ハワリンバヤル」（東京）などへの出展参加



(2) 開館20周年記念フォーラムの開催

ア 期日 平成28年10月1日（土）

イ 場所 但東市民ホール

ウ 内容 (ア) 新たなモンゴル文化の交流拠点、博物館のあり方や地域づくりを考えるシンポジウムの開催

(イ) 交流事例発表、基調講演や提言 など

エ 特別招聘 S.フレルバータル駐日モンゴル国特命全権大使閣下

S.デムベレル氏（モンゴル豊岡シルクロード友好協副会長）ほか

オ 参加予定 関西地方でモンゴル国とつながりを持つ個人・団体の代表者ほか

(3) 開館20周年地域共催イベント「しば・モンゴル宝まつり（仮）」の開催

ア 期日 平成28年11月5日（土）～6日（日）

イ 場所 日本・モンゴル民族博物館及び周辺

ウ 内容 関西在住の在日モンゴルの方々や留学生を招き、地域との共催による行事（例年開催の地元イベントで民族音楽会や各種体験教室、関係展示など）でさまざまな交流を行う。

(4) その他

博物館近隣で例年開催のチューリップまつり、但東町相田・安国寺のドウダんツツジ、七夕やひな祭りなどに併せて開催する。

開館20周年記念と銘打ち通年イベントとして、馬頭琴やホーミーなど民族音楽コンサートも一体的に開催する。

担当部署名【文化振興課 日本・モンゴル民族博物館】0796-56-1000

No.21	芸術文化による豊かな生活を実現 ～芸術文化情報発信事業～	28 年度 予算額	1,697 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

芸術文化による「豊かな生活」を実現するため、市民への情報提供の充実、さまざまな年齢層で参加可能なプログラムの実施等を図る。それにより、市民が暮らしの豊かさを実感するとともに、豊岡で暮らすことの喜びを見いだすことができる魅力あふれる社会の実現を目指す。

2 事業内容

(1) ゼロから学ぶパフォーミング・アーツ入門 2016（仮）

平成 27 年度に、城崎国際アートセンターで実施したパフォーミング・アーツ入門の市民講座を更に充実させる。

芸術と社会を結び付ける取組みを実践する専門家を講師として招くなど、シリーズで開催する。



(2) 国際文化交流プログラム

カナダ・ビクトリア大学で日本語を学ぶ学生たちが、アートセンターに滞在し、演劇的手法を活用したワークショップなどを通して、実践的な日本語を学ぶ。

滞在期間中、城崎温泉街での就業体験や一般家庭でのホームステイを行うほか、市内の小学校に出向き、子どもたちに外国人とのコミュニケーションの機会を提供するなど、地域住民との交流を通して国際文化交流を図る。



(3) 学校へのアーティスト特別派遣

アートセンターで滞在制作を行っているアーティストが、市内小・中学校で、ダンスの特別授業を実施する。



(4) インターンシップ受入

アートマネジメントを専攻する大学生を対象に、アートセンターで、アートコーディネイト業務等を実践的に学ぶ機会を提供する。

(5) 文化・芸術情報放送

文化・芸術全般に係る情報を、FMジャングルを通じて、市民へ提供する。

担当部署名【大交流課】0796-21-9016

No.22	地域の特色を生かし城崎を活性化 ～城崎振興局プロジェクトの推進～	28 年度 予算額	8,271 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

城崎地域では観光事業の繁忙期と閑散期で観光客の入込み差が大きく、旅館などでは通年の雇用が難しい状況となっている。

城崎温泉夢花火等の閑散期の観光客増加につながる事業の支援により、年間を通じて安定した雇用環境を創出する。また、城崎ヤングワーカー魅力アップ調査事業による若者の就労に関する調査研究を実施し、正規で働く若い人を増やす。

2 事業内容

(1) 城崎温泉夢花火事業（継続）

ア 内容 夏季（夏休み期間中の平日）の観光客増加を目指し、夢花火を上げる。

イ 事業費 12,000 千円（市補助金 6,000 千円）

ウ 事業主体 城崎温泉観光協会

(2) コウノトリチャレンジライド事業（継続）

ア 内容 9月上旬に城崎をスタート、ゴールとした全市域を回る自転車イベントを実施する。

イ 事業費 11,400 千円（市補助金 800 千円）

ウ 事業主体 山陰海岸ジオパークコウノトリ
チャレンジライド in 但馬 実行委員会



(3) ヤングワーカー魅力アップ調査事業（新規）

ア 内容 若者の就労に関する調査研究等を実施する。

イ 事業費 300 千円（市補助金 150 千円）

エ 事業主体 城崎温泉旅館協同組合（仮称）雇用対策検討委員会

(4) 柳並木整備事業（新規）

ア 内容 大谿川沿いの柳並木の老木、劣勢木を植替え、景観を維持する。

イ 事業費 1,121 千円

ウ 事業主体 豊岡市

担当部署名【城崎振興局 地域振興課】0796-21-9065

No.23	地域の特色を生かし竹野を活性化 ～竹野振興局プロジェクトの推進～	28 年度 予算額	13,442 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

「竹野の海・山・川と共生して暮らす若者が増えている」を戦略目的とし、仕事づくり、地域の魅力づくり、情報発信、次世代教育など、地域の特色を生かした事業を推進し、人口減少の緩和と地域振興を図る。

2 事業内容

(1) 竹野地域第一次産業就労支援モデル事業（新規）

- ア 内容 農業の新規就労者（兼業農家）の育成支援
- イ 事業費 900千円（3年間限定）
- ウ 事業主体 竹野地域就農者育成グループ

(2) 地域情報発信事業（継続）

- ア 内容 マスコミ等への情報提供及び情報発信に対する支援
- イ 事業費 1,500千円（補助率1/2）
- ウ 事業主体 たけの観光協会、株式会社北前館

(3) 海上アスレチック整備事業（新規）

- ア 内容 海水浴場の新しい魅力づくりとして、海上アスレチック整備の支援
- イ 事業費 3,000千円（補助率1/2）
- ウ 事業主体 たけの観光協会

(4) 地域学習推進事業（新規）

- ア 内容 小中学校を対象にした地域学習の実施
- イ 事業費 400千円
- ウ 事業主体 豊岡市

(5) 芸術交流事業（新規）

- ア 内容 芸術家へ宿泊場所の提供
- イ 事業費 240千円（補助率10/10）
- ウ 事業主体 桑野本地域活性化委員会

(6) 三原谷の川の風まつり事業（継続）

- ア 内容 イラストレーター、映像作家、音楽家等によるイベントへの支援
- イ 事業費 1,200千円（補助率1/2）
- ウ 事業主体 三原谷の川の風まつり実行委員会

(7) 旧大森小学校修繕事業（新規）

- ア 内容 旧大森小学校の校舎、体育館の雨漏り等の修繕
- イ 事業費 3,500千円
- ウ 事業主体：豊岡市

(8) まちなみ景観調査事業（継続）

- ア 内容 焼き杉板の町並みの学術的調査の実施
- イ 事業費 1,502千円
- ウ 事業主体 豊岡市



竹野浜 焼き杉板の町並み

(9) 体験プログラム支援事業（新規）

ア 内容 自然学校体験用キャンプ資機材、石窯等の整備に対する支援

イ 事業費 1,000千円（補助率1/2）

ウ 事業主体 たけの観光協会

担当部署名【竹野振興局 地域振興課】0796-21-9073

No.24	地域の特色を生かし日高を活性化 ～日高振興局プロジェクトの推進～	28 年度 予算額	4,380 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

事業目的を「人口減少の緩和」、戦略目的を「日高で暮らす若い人が増えている」とし、商売人の育成、空き民宿等の活用、地域特産物の商品化、地域の食材を使用した競技者への食事提供、先輩に学ぶなどの事業を展開し、雇用の創出、UITターンの促進を図る。

2 事業内容

(1) 商売人育成推進事業

- ア 内容 起業を目指す者に、販売場所と機会を提供するチャレンジショップ事業に対する支援
- イ 事業費（補助額） 200 千円（市補助率：1/4）
- ウ 事業主体 豊岡市商工会日高支部

(2) 空き民宿等活用促進事業

- ア 内容 神鍋地域の空き民宿等の実態調査
- イ 事業費（補助額） 1,900 千円（市補助率：10/10）
- ウ 事業主体 日高神鍋観光協会

(3) 日高地域特産物商品化モデル事業

- ア 内容 神鍋の高原キャベツなど日高の特産物を使った新商品開発、販路開拓（補助率 2/3 上限 500 千円）及び加工機械等の整備（補助率 1/2 上限 500 千円）支援
- イ 事業費（補助額） 1,000 千円（市補助率：2/3、1/2）
- ウ 事業主体 農林漁業者又は商品開発等を行う団体

神鍋の高原野菜を使用した既存商品



キャベツチップス



キムチ(キャベツ、大根、ねぎ、白菜)

(4) 神鍋アスリート食「ハートフル食」推進事業

- ア 内容 競技者のためのアスリート食「ハートフル食」の認定件数を増やす講習会等への支援、合宿誘致等の PR 活動支援
- イ 事業費（補助額） 1,000 千円（市補助率：1/2）
- ウ 事業主体 神鍋ハートフル食プロジェクト実行委員会

献立例：一般成人アスリート食



大会前日 夕食



大会終了後(疲労回復) 夕食

(5) 日高地域の先輩に学ぶ授業

ア 内容 日高地域で仕事などに活躍している若手が講師となって、中学生に対して体験談や、考え方を伝える授業を実施

イ 事業費 80 千円

ウ 事業主体 豊岡市

(6) 事業推進費

200 千円(事務費)

2 事業期間

平成 28 度～

3 28 年度予算

4,380 千円

担当部署名【日高振興局 地域振興課】0796-21-9056

No.25	地域の特色を生かし出石を活性化 ～出石振興局プロジェクトの推進～	28 年度 予算額	10,286 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	-----------	----------------

1 事業目的（趣旨）

人口減少対策として、戦略目的を「楽しんで出石に暮らす若者が増えている」と掲げ、観光環境整備、出石焼振興、空き家活用事業を実施し、雇用の創出、起業の活性化、U I J ターン促進により定住増を図る。

2 事業内容

(1) 辰鼓楼周辺整備事業

ア 内容 辰鼓楼周辺のお堀に曝気装置を設置し、水質浄化剤の投入にて、水質環境の改善を行う。

イ 事業費 4,500 千円

ウ 事業主体 豊岡市

(2) 出石焼宣伝活動事業

ア 内容 東京の青山スクエアに出石焼を出展し、制作実演も行う。

国内及び外国人へ出石焼を広く宣伝するため、ホームページの開設、宣伝広告物の作成等を行い、出石焼の販売促進、伝統産業の継承、雇用創出につなげる取組みを支援する。

イ 事業費（補助額） 2,166 千円（市補助率 10/10）

ウ 事業主体 出石焼陶友会

(3) 移住定住者向け住宅店舗活用事業

ア 事業内容 伝統的建造物群保存地区内の空き家物件を調査し、所有者に賃貸または売買の意向を確認、空き家を活用する取組みに支援する。

イ 事業費（補助額） 1,920 千円（市補助率 10/10）

ウ 事業主体 特定非営利活動法人
いずし町家再生プロジェクトA

(4) 大手前駐車場管理棟改修事業

ア 内容 大手前駐車場管理棟を出石の景観に配慮した建物の改修に補助を行う。

イ 事業費（補助額） 1,500 千円（市補助率 1/2）

ウ 事業主体 ㈱出石まちづくり公社



3 28 年度予算

10,286 千円

担当課名【出石振興局 地域振興課】0796-21-9025

No.26	地域の特色を生かし但東を活性化 ～但東振興局プロジェクトの推進～	28 年度 予算額	6,443 千円	新規 拡大 継続
-------	--	--------------	----------	---

1 事業目的（趣旨）

但東地域の人口減少を緩やかにするために、未婚者の結婚を増やすよう、未婚の若者に出会いの機会を提供する。

また、但東地域に移住する若い人を増やすよう、若い家族に住居を賃貸し住む場所を提供する。さらに、働く場所を増やすよう、教育民泊の推進を図る。

2 事業内容

(1) 若者のネットワークづくり支援事業

ア 内容 若者が企画・実施する出会いイベント事業への支援

イ 事業費（補助額）447 千円

ウ 事業主体 しやっても但東（但東地域の若者のネットワークづくりを行う実行委員会）

(2) 婚活リーダー養成事業

ア 内容 若者の結婚促進のための結婚応援行動計画の調査・検討

イ 事業費 1,350 千円

ウ 事業主体 豊岡市

(3) 移住促進住宅運営事業

ア 内容 移住促進住宅の維持管理

イ 事業費 556 千円

ウ 事業主体 豊岡市

(4) 教育民泊推進事業

ア 内容 いのちの輝き体験旅行を推進し、農家の副収入を確保し、移住者や新卒者の定住を図るための教育民泊推進を支援

イ 事業費 3,890 千円

ウ 事業主体 豊岡市、豊岡市いのちの教育推進協議会



3 28 年度予算額

6,443 千円

担当課名【但東振興局 地域振興課】0796-21-9032